

Level4\_1: 私と小鳥と鈴と (金子みすず)

わたし りょうて  
私が両手をひろげても

そら  
お空はちっとも飛べないが

と ことり わたし  
飛べる小鳥は私のように

じめんはやはし  
地面を速く走れない

わたし からだ  
私が体をゆすっても

おと  
きれいな音はでないけど

な すず わたし  
あの鳴る鈴は私のように

うた し  
たくさんな唄は知らないよ

すず ことり わたし  
鈴と、小鳥と、それから私、

みんなちがって、みんないい

Level4-2: 彼は (千家元暦)

かれ  
彼はどこにでも居る。

せいめい ひ  
生命の火はどこにでも居る。

どこ  
何処にでもめぐり、何処にでも隠れて居る。

き  
気がつけば彼は露骨だ。

かれ みず なか さかな みず なか  
彼は水の中にもいる。魚 となって水の中にいる

び きんぎょ びん なか い わら なか なみだ  
美しい金魚 となって瓶の中にも居る。笑いの中にも 涙の中にも

かれ ひとびと あめ なか やみ なか  
彼は人々がいやがる雨の中にも、闇の中にもいる。

き なか おんな こども いぬ ねこ なか  
木の中にもいる。女 や子供や犬や猫の中にもいる。

み  
見よ、どこにでも彼はいる

ろこつ かれ  
露骨なる彼は。

Level4-3: お菓子 (水谷まさる)

わたしがもしも王子なら

家来を呼んで云いつけよう。

子供をみんなつれて来て

おいしいお菓子を分けてやれ。

二つのお手にのらぬほど

たくさんたくさん分けてやれ。

けれど、わたしは王子じゃない

お菓子屋の店の前に立ち、

今日もお菓子に見とれては

そういうことを思うだけ。